



本年もよろしくお願ひいたします

令和5年が始まりました。昨年は学校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

依然として感染症対策に気の抜けない状況が続きますが、子どもたちは元気に登校してきてくれました。これも、ご家庭での感染症対策の賜物だと深く感謝申し上げます。新しい年の始まりですが、学校生活において3学期はまとめの時期になります。始業式では、校長と生徒指導担当から、次のような話をしました。



【校長より】

からだ 元気
こころ 元気
あたま 元気

1学期は「からだ 元気」、2学期は「こころ 元気」を大切にしてきた。3学期は「あたま 元気」を大切にしていこう。「あたま 元気」にするには、「自分から学ぶ」こと、「あきらめずにチャレンジする」ことの2つを大切にしてほしい。「わかる」ことは、自分が「かわる」ということ。その喜びを感じて、学校でも家庭でも、自分から学習に取り組んでほしい。また、みんなの意見を聞く

ことで、自分一人の学習では得ることのできない新たな発見をすることができる。話し合い、やってみて、うまくいかなかったところをどう直していくかまた話し合う。「あきらめずにチャレンジする」ことで「あたま 元気」にしていこう。

【生徒指導担当より】

またね **まとめの時期**
大切にす
ぐす
年度終わりにやるべきこと

3学期は「まとめの時期」そして短い。一人一人が「できる」という自信を持ち、楽しかったこと、うれしかったことを振り返りながら一日一日を「大切に」過ごそう。4月から新しい学年になるという自覚を持って、やり残したことがないように、今「年度終わりにやるべきこと」をしっかりとやろう。

次の学年に向かって

3学期も、感染症対策にご協力を

年末年始の新型コロナウイルス感染者数は全国で1日あたり20万人を超え、依然として高い状況にあります。また、今シーズンはインフルエンザの同時流行も懸念されている状況です。これまで同様に、同居家族に風邪・熱症状がある場合は、症状が解消するまで、きょうだいを含めて、念のための自宅待機をお願いします。

四日市市内の学校では、3学期から学級閉鎖の基準が、「感染経路不明の陽性者が3名以上発生し、かつ、学級内の陽性者数が同時期に5人に達した場合」と緩和されましたが（これまでは2名以上で閉鎖）、閉鎖の期間については従来通り「陽性者の最終登校日から5日間」と変わっておりません。陽性者の最終登校が金曜日であった場合には、学級閉鎖は翌週の水曜日までで木曜日からは登校できますが、陽性者の最終登校日が月曜日であった場合には、その週はまるごと閉鎖期間となり翌週の月曜日からは登校できません。閉鎖の長期化を防ぐためにも、特に週明け月曜日に体調の不安があった場合は、無理をさせず自宅で様子をみていただくようお願いします。

また、3学期のこの季節は風邪が流行りやすい時期であり、卒業式という大きな行事が控えていることから行事の実施についてはより慎重に判断させていただきますので、その折にはご理解いただきますようお願いいたします。